

# 第1学年 学級活動指導案

平成28年12月7日(水) 第5校時

## 1 議題 「『スキー教室』に向けて、1年〇組のオリジナルのお守りを作ろう」

内容(1) 学級や学校の生活づくり(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

## 2 議題選定の理由

### (1) 議題について

本学級では、学校行事(体育祭や文化祭)に取り組むたびに、学級成員の「団結」や「協力」の証として「お守り」の作成をしてきた。体育祭では、「メッセージ入りのリストバンド」を作り、文化祭では、「学級のシンボルのキャラクターを入れた折り紙」を作成した。これらの「お守り」は、個人や集団の活動の意欲付けとしての役割を果たすことができた。大きな学校行事での取組を経て、第2学期のこの時期に、個人の考えや思いを学級全体で共有し、学級がさらに一致団結し、個人及び集団として、1年生の集大成となる学校行事「スキー教室」に向けて、学級一丸となって、よりよく取り組むことができる「きっかけ」になればと考え、本議題を選定した。

「スキー教室」に取り組んでいく中で、学級の一人一人が、これまでの経験を活かし、さらによりよい人間関係を築き上げ、仲間や集団を大切に、「スキー教室」全体の活動を有意義に進めることができるよう、指導していきたい。

### (2) 生徒の実態について

中学生の時期、生徒は自我の目覚めとともに独立の欲求が高まる反面、未熟な部分もあり、自分勝手な行動を取ることが多くなる。また、他者の態度や評価を気にしてしまい、自分自身の考えや思いを表現することに消極的になってしまいがちである。

中学生としての新しい生活が始まり、半年が経過した。本学級の生徒は、男女の仲が良く、互いに協力して、ここまでの学校生活を送ってきた。男子は、明るく元気であるが、自分自身に自信がなく、粘り強く取り組むことのできない場面がしばしば見られる。女子は、穏やかで落ち着いた生活を送っている生徒がほとんどである。最近の傾向としては、当たり前でできなければならないことが疎かになるなど、中だるみの様子が見え、授業や学級活動(係活動、当番活動)に、一所懸命に取り組めない状況が現れてきたことが挙げられる。その一方で、部活動の大会や専門委員会を中心とした生徒会活動、学校行事等での活躍が多く見られ、学校のリーダーとして意欲的に活躍している生徒も多い。特に学校行事では、体育祭や文化祭などを通じて、自分自身の活動、所属集団での活動の大切さや楽しみを実感できている生徒も多くなっている。

第1学年の振り返りを過ぎているが、学級集団の実態として、未だに友人関係をつくることのできない生徒や、周囲の目を気にして自分の意見を発表できない生徒が見られる。学級活動(1)の内容を通じて、生徒相互の関係を深め、学級の絆を強いものとしていきたい。

### (3) 指導観について

第1学期は、「学級組織の編成」や「クラスのみならず担任が大切にしたいこと(学級目標決め)」などの話し合い活動に取り組んできた。第2学期は、一つ一つの学校行事によりよく参加するための取組について、話し合い活動を行っている。しかし、興味の薄い議題に対して、消極的な態度が見られ、話し合いが深まらないこともあり、教師による「学級指導的な時間」になってしまいがちな傾向がある。学級活動(1)の経験について生徒に聞いたところ、小学校6年間での話し合い活動の経験は、学校間・学級間で様々であり、大きな差があった。話し合いによって意見を交換する経験の少なさが、人間関係の希薄さにつながっているようにも思える。よって、学級活動

(1) を積極的に実践することにより、生徒が日常的に自分の思いを伝え、他者の意見を聞く機会を増やし、よりよい人間関係づくりにつながっていくよう指導を進めていくことを考えた。

### 3 指導のねらい

- (1) 「スキー教室」に向けた学級の取組に関心をもたせ、互いの考えを生かした合意形成を図る。  
 (2) 学級の一員としての自覚を深めさせ、「スキー教室」へ向けての活動意欲を高める。

### 4 評価の観点および評価規準

観点	集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
評価規準	人間関係や生活上の様々な問題について、生徒一人一人が集団の一員としての自覚と責任感に基づき、協力して解決していこうとしている。	親睦を深める場について考え、諸問題の解決のために役割を分担しながら話し合いを進めている。	学級や学校生活の充実・向上に向けて、グループや全体での話し合い、討論などによって解決する仕方を理解している。

### 5 展開の過程

#### (1) 事前の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
11月 日	学級活動 (学級全員)	・文化祭の活動の振り返り(アンケート調査)を行う。	・落ち着いた態度で真剣に回答するよう促す。	
11月 日	放課後 (学級活動委員会)	・アンケート調査の集計と分析を行い、話し合いの方向性を確認し、役割分担をする。	・生徒の思いを聞きながら、本時の流れを検討し、活動の見通しをもてるようにする。	・話し合い活動が深まるよう自主的に準備を進めようとしている。 (関) 【観察】
11月 日	帰りの会 (学級全員)	・学級活動委員が本時の活動の流れを説明する。	・本時の活動のイメージをもてるよう補助的な助言を行う。	・議題に関心をもち、自身の考えをまとめている。 (関) 【学級活動カード】

#### (2) 本時の指導と生徒の活動

ア 本時の活動テーマ 「スキー教室」のお守りの作成の仕方を考えよう

イ 本時のねらい

- 「スキー教室」に向けた学級の取組に関心をもち、互いの考えを生かし合意形成を図る。
- 学級の一員としての自覚を深め、「スキー教室」に」向けての活動意欲を高める。

ウ 展開

	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法(評価の観点) 【評価方法】	資料等
活動の	1 開会の言葉	・学級活動委員会による生徒主体の進行により、話し合い活動の定着を図る。	学級活動カード
	2 学級活動委員の紹介	・励ましの拍手を送り、和やかな雰囲気をつくる。	

<p>開始 10分</p>	<p>3 議題の発表・確認 4 提案理由の説明</p>	<p>・これまでの学校行事の取組の振り返りから、学級活動委員会で検討した内容を示し、本時の概要を全体に説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【提案理由】</b> 2学期の「体育祭」や「文化祭」では、クラスの全員がそれぞれの役割に頑張っており、活躍することができました。また、全員で一致団結して楽しく協力して盛り上がり、良い思い出を作ることができました。 「スキー教室」でも、一人一人が頑張るために、全員で協力するときは団結できるように、同じようなお守りを作りたいと思い、この議題を提案しました。</p> </div>	
<p>活動の展開 35分</p>	<p>5 教師の話</p> <p>6 話し合い (1) どんなタイプのお守りにするか？ (2) どんな工夫（言葉やイラスト）をするか？ (3) 役割分担はどうするか？</p>	<p>・提案理由から逸脱することのないように押さえるべき話し合いのポイントを伝える。</p> <p>・“出し合う”、“比べ合う”、“まとめる”の「3段階討議法」を用いる。</p> <p>・全体討議の形だけでなく、グループ討議を経由して話し合いの活性化や効率化を図る。</p> <p>・教師は、場面に応じて学級活動委員（司会、板書、記録）や全体集団への指導助言を行う。</p> <p>・自分と異なる意見からも、自分の意見にないよい点を見付けさせる。</p> <p>※話し合いのルールを理解し、能動的な傾聴や適切な自己表現、合意の形成（折り合いを付けること）をする力を付ける。</p> <p>◎自分の考えと他者の考えを比べながら聞き、よりよい方法について考えている。</p> <p style="text-align: right;">（思）【観察】</p> <p>◎提案理由とめあてを理解して、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、話し合いに積極的に参加しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">（関）【観察】</p>	
<p>活動のまとめ 5分</p>	<p>6 決定事項の確認 7 自己評価と感想記入 8 教師の話</p> <p>9 閉会の言葉</p>	<p>・決まったことを全員で再確認し、共通理解させる。</p> <p>◎話し合いの意義や、決定事項を集団で実践することの意義について理解している。</p> <p style="text-align: right;">（知）【学級活動シート】</p> <p>・活動全般を通しての評価をし、学級活動委員会や意欲的に取り組んだ生徒を称賛する。</p> <p>・活動上の課題点を明確にし、次回“学級会”への努力目標とする。</p> <p>・今後の活動への意欲が高まるよう声かけを行う。</p>	

6 資料等

○学級活動カード（学級会シート）

第 回

学級会

月 日 ( )

校時

年 組 番 名前

議題						
提案理由						
話合いの 目当て						
役割	司会		板書		記録	
	司会		板書			

時間	話合いの流れ				
分	1、開会の言葉	2、司会団の紹介	3、議題の確認	4、提案理由の説明	
	5、話合いの目当ての確認	6、話合いの柱の確認	7、先生のお話		
	<b>8、話合い</b>				
	柱①：				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ナイスアイデア</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その理由は？</div>			
分	柱②：				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ナイスアイデア</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その理由は？</div>			
分	柱③：				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ナイスアイデア</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その理由は？</div>			
	<b>9、決定事項の確認</b> <span style="float: right;">※自分の担当・役割に★をつける</span>				
	①				
	②				
	③				
	<b>10、自己評価（反省○○△と感想）</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えを前もって決めておいた ( )</li> <li>• 他の人の発表をきちんと聞いた ( )</li> <li>• 自分もみんなも良いと思える決定ができた ( )</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 積極的に学級会に参加&amp;発言できた ( )</li> <li>• 提案理由や目当てを意識した ( )</li> <li>• 前回の学級会の自分より良い、がんばった ( )</li> </ul>		
分	感想	-----			
	11、先生のお話	12、閉会の言葉			

## 7 板書計画

第〇回 **教師ニツクネーム**と愉快的な仲間たち

学級会

議題 スキー教室に向けて、

1年1組のオリジナルのお守りを作ろう

提案理由

話合いの目当て

話合い

柱①

柱②

今日決まったこと